

# おおふなと

# 社協だより

2019年8月号

ふれあいネットワーク



## 今月の表紙

むら かみ まさ き れい こ  
村 上 政 樹さん・礼子さん  
ゆい しょうま  
結衣ちゃん・翔麻くん  
(6歳) (2歳)



【特集】「誰もがお互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり」を推進します……	2～3
蛸ノ浦地域「長崎サロン」	4
キッズ水泳教室	4
第36回大船渡市社会福祉大会	5
お知らせ	6～7
輝き人	8



# 誰もが お互いに支え合い、 安心して暮らせるまちづくり を推進します

## ～第2次大船渡市地域福祉活動計画策定～

大船渡市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指し、住民や関係機関と手を携えながら、地域福祉活動を開催するための行動計画として、第2次大船渡市地域福祉活動計画を策定しました。

この計画は、令和元年度から令和5年度を対象期間に本会が取り組む事業活動の基本となるもので、毎年進捗状況を確認しながら、目指す地域づくりを計画的に推進していきます。

### 基本理念

安心して暮らし続けるためには、抱えている生活課題を、できるだけ早期に解決できることが重要です。

しかしながら、その解決策を必ずしも全ての住民が持ち合わせていいわけではなく、公的な支援やサービス利用に加え、日常的な住民同士の支え合い、助け合いにより、対応できる地域づくりが重要です。

そこで、大船渡市の地域福祉を推進するという共通の目的がある大船渡市地域福祉計画（平成30年3月策定）との整合性を図り、「誰もがお互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、生活課題解決に向けた取組を進めます。

基本目標に掲げたまちづくりを推進するため、5つの基本目標を設定しました。

### 基本目標

#### 「住民同士で支えあう 地域づくりの推進」

住民同士が顔の見える関係性を構築し、他人ごとを我がごととして捉え、見守り合い、支え合い、助け合う意識の醸成を図り、公的なサービス利用と併せて、住民自らが課題を解決できる地域づくり、仕組みづくりを進めます。

また、活動の担い手となる人材の確保・育成を図るため、広報活動、福祉教育を推進します。



地域住民の活動をサポートしています

### 基本目標2

#### 「安心して暮らせる 地域づくりの推進」

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、さまざまなお生活課題ができるだけ早期に解決することが重要です。その解決に向け相談支援体制の強化を図ります。

また、生活課題解決に向け、他の専門機関等との連携体制を構築するとともに、介護サービス、子育て支援、生活困窮者支援などの福祉サービスの充実を図ります。



双子の子どもを持つ親御さんの声から始まった  
「双子ちゃん家族わいわいトークの日」

### 基本目標3

#### 「快適で安全に暮らせる 地域づくりの推進」

住み慣れた地域で快適に暮らしが続けていくためには、通院や買い物などは必要不可欠です。しかし生活環境によっては、それらの対応が困難で、不便を感じている人が少なからず存在していることから、他機関と連携しながら、この解消に向けた取組を進めます。

また、災害発生時の要避難支援者、災害発生後の被災者に対する支援体制の構築、強化を進めます。

### 基本目標4

#### 「心身の健康づくりの推進」

自立した在宅生活を送るために自立した在宅生活を送るために、心身ともに健康であることが重要です。また、住民一人ひとりが元気で生き生きと生活し、地域活動の担い手として活躍することは、地域の活性化にも繋がります。

市内の2拠点を活用して、健康づくりと生きがいづくりを推進します。

### 基本目標5

#### 「他法人等との連携強化の推進」

市内には複数の社会福祉法人があり、それぞれの特性を活かし、高齢者、障がい者、子育て等の分野に

おいて事業を展開しています。この法人間の連携を強化し、共通課題や地域課題の解決に向けた協議の場を設けます。

また、社会福祉法人に限定せず広く関係機関の連携も図り、地域課題の解決に向けた協力体制の強化を進めます。

### 住民参画による計画の推進

本計画の推進にあたっては、行政、地域助け合い協議会、関係機関、住民組織との連携・協働に加えて、住民の理解と参画が必要ですので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。



計画策定に向けワークショップを開催

### 基本理念

誰もが  
安心して暮らせる  
お互いに支え合い  
まちづくり



### 基本目標1 住民同士で支え合う地域づくりの推進

- (1) 住民同士の交流促進と支え合い・助け合い意識の醸成
- (2) 住民主体による課題解決の仕組みづくり
- (3) 福祉人材の育成



### 基本目標2 安心して暮らせる地域づくりの推進

- (1) 相談しやすい環境整備の推進
- (2) 福祉サービスの充実



### 基本目標3 快適で安全に暮らせる地域づくりの推進

- (1) 生活しやすい環境整備の推進
- (2) 災害発生時・発生後の支援体制の充実



### 基本目標4 心身の健康づくりの推進

- (1) 健康づくり・生きがいづくりの推進



### 基本目標5 他法人等との連携強化の推進

- (1) 社会福祉法人の連携強化

## 話語りが元気の秘訣 蛸ノ浦地域「長崎サロン」



雨にも風にも雪にも負けずに、毎週2回いつもの場所へ集まる皆さん

「長崎サロン」は平成29年から蛸ノ浦地区助け合い協議会により運営されているサロンで、毎週火曜日と金曜日に活動しています。

7月23日（火）のサロンには、雨の中83歳から96歳までの8人が集まり、恒例の体操と自分たちで歌詞をアレンジした歌を数曲歌うことからスタート。その後は、お楽しみの話語りの時間。お茶を飲みながら、高校野球や

旬野菜の調理方法など、次々と話題が途切れることはありません。「ひとりで家にいても、テレビを見たり、寝たり起きたりしているだけなので、ここに来るのが何よりも楽しみ。絶対に休みたくないのです」通院日も調整しています」「サロンに参加するようになつて、計画的に畠仕事をするようになつたんです。自分のやる気にもつながっています。世話役の大澤コーディネーターは、「以前は、坂の上にある公民館で開催していましたが、参加する人たちの利便性を考慮して、3年前から我が家を会場にしています。皆さん元気になります。これからも続けていきたいと思っています」とのこと。

開催曜日は、この地区的ゴミ収集日になつており、ゴミを出しに行く流れでサロンに行くと、生活の一部に組み込みやすくするユニークな工夫がされています。



## ♪楽しみながらルールやマナーを学ぼう♪ キッズ水泳教室



みんな笑顔で楽ししくルールやマナーを学ぼう

第2回キッズ水泳教室が7月20日（土）に開催され、10名の参加者が「水に慣れる」と「プールでのルールやマナーを守ること」を学びました。この教室は毎年、大船渡市だけではなく近隣市町村からも多数の参加があり好評です。今年度は参加対象を年中から年長に変更。さらにできるだけたくさんの子どもたちが参加できるよう前年度より2回多い全5回の開催と

受講生の菅生実季ちゃん（6歳）は「友達も参加していく楽しさがわかった。次の水泳教室にも早く参加したいです」と話してくれました。

実季ちゃんのお母さんは「小学校に行くと水泳の授業があるし水に慣れてもらうために今回申し込みました。1回目の教室に参加した後、楽しかったと話していたので、今年度開催される全ての教室に申し込みました。Y・Sセンターの温かいプールが気に入つて今日も早く入りたいと話していました」と話してくれました。

講師の菅野先生は、「小さい頃から水に慣れたり、マナー・ルールを学ぶ事は大事。楽しみながら学んでくれたら嬉しいです」と話してくれました。

### △第3回キッズ水泳教室

● ● 申込期限	● 日 時	● 8月25日（日）
参加対象	午前10時～	8月24日（土）まで



安心・安全を実感できる地域を目指して

## 第36回大船渡市社会福祉大会



長年ご尽力されてきた功績や福祉標語の優秀作品を称え、表彰しました

7月20日（土）、三陸公民館において第36回大船渡市社会福祉大会を開催しました。多年にわたり社会福祉の発展に尽力された人や福祉標語コンクールに入賞された人を表彰したほか、福祉教育に取り組んでいる団体から実践報告がありました。昨年度から社会福祉推進校の指定を受けている大船

渡市立末崎小学校では、金里副校長先生から、子どもたちが始めた活動が家庭や地域を動かし、広がりを見せたアルミ缶集めの活動や北海道胆振東部地震募金活動について報告。地域の特産品である「わかめ」や「椿」を地域の人たちと関わりながら学び、「末崎」がますます好きになるような子供の育成を目指していることについても紹介していただきました。

同じく社会福祉推進校の大船渡市立大船渡中学校では、小林生徒会長、中神、菊池副会長から、4つの郷土芸能への取り組みについての報告があり、実際に「地ノ森権現」を披露する一幕も。「地域の人たちに支えられながら、これからも伝統芸能を継承していくための見守りや生活支援活動をすすめよう」、誰もが健康で生きがい」と地域とともにあります取り組みに対する強い思いを話していただきました。

渡市立末崎小学校では、金里副校長先生から、子どもたちが始めた活動が家庭や地域を動かし、広がりを見せたアルミ缶集めの活動や北海道胆振東部地震募金活動について報告。地域の特産品である「わかめ」や「椿」を地域の人たちと関わりながら学び、「末崎」がますます好きになるような子供の育成を目指していることについても紹介していただきました。

最後に「地域で育む福祉教育推進モデル事業」を社会福祉協議会とともに取り組んでいる吉浜地区から

は、助け合い協議会の新沼事務局長兼生活支援コ

ディネーター、大船渡市立吉浜小学校の伊藤副校長先

生、大船渡市立吉浜中学校の西丸副校長先生が登壇。

海岸清掃、帆あげ交流会など、地域住民がひとつになり取り組んでいる行事について報告がありました。

最後に、安心と幸せを実感できる「福祉のまちづくり」を進めるために次の3つのことに取り組むことを確認しました。

今大会における受賞者は次のとおりです。（順不同・敬称略）

### 【一般表彰】

#### ○社会福祉事業功労

熊谷勵、山口定、佐々木

登、佐竹強、白木澤太一、

新沼一衛、大森俊一、菅田

靖典、米田千賀子、金野精

子、今藤睦美、村上純子、

子、菅野好子、吉田展泰、

鎌田泰子、高橋洋喜、菊池

郁子、佐藤廣治、渡辺景

一、誰もが安心して暮らせるための見守りや生活支援活動をすすめよう

一、誰もが健康で生きがい

をもつて暮らせる地域社会の構築を目指そう

一、地域全体で「支えあいま

ちづくり」運動をすすめよう



大船渡中学校の発表では郷土芸能で使用する道具の披露もしてくれました

美、大上八栄子、田端仁、  
熊谷昌子、大津喜穂子、大  
森如恵、田村福子、上野博  
幸、村上哲男、刈谷智子、  
浦島悦子、長岩一雄、佐藤  
松春、袖野成光

#### ・団体

蒲生孝子、千葉嘉壽江、古  
水スエ子、金野聰子、吉田  
幸子、西條征江、音声認  
オープンハート

#### ○ボランティア活動功労者

#### ○小学生の部

志田翔規、米沢遊月、小山  
陽渚莉、佐々木俐人、袖野  
巧叶

#### ○中学生の部

新沼颶一郎、後藤陽菜、後  
藤麗菜、坂本晃太郎

#### ○小学生の部

志田翔規、米沢遊月、小山  
陽渚莉、佐々木俐人、袖野  
巧叶

#### ○小学生の部

志田翔規、米沢遊月、小山  
陽渚莉、佐々木俐人、袖野  
巧叶



\*岩手県福祉人材センター情報

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職した方などの相談に応じます。相談を希望する人は、事前に連絡をお願いします。なお、10日(火)については、お子様連れでも相談できます。

### 介護のしごと相談日程（9月）

開催日	会 場	時 間
2日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前10時～午後4時
9日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前10時～午後4時
10日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
12日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
19日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
26日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

#### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本さん  
電話 080-8201-0200



\*就労準備支援事業情報

## フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。参加を希望する人は事務局までお申ください。

日 時 毎週木曜日  
午後1時30分～午後3時30分  
場 所 大船渡市Y・Sセンター  
内 容 卓球、スポーツ吹矢ほか  
持ち物 上靴（動きやすい服装で参加してください）

\*写真洗浄事業情報

## 思い出の写真を返却しています

東日本大震災で被災し、持ち主不明の写真を展示・返却しています。ご自身やご家族等の写真が見つかりましたら、その場でお返しします。

これまで、478,402枚を返却しましたが、残り36,980枚の持ち主を探しています。

時 間 午前8時30分～午後8時  
場 所 大船渡市Y・Sセンター



「募集」「イベント」「お知らせ」など  
暮らしに役立つ情報を  
お届けします。



申込・ 大船渡市社会福祉協議会  
問い合わせ先 電話 0192(27)0001 (代表)

\*子育て支援事業情報

## つどいの広場inキャッセン

親子で楽しめるイベントを開催します。  
お気軽にお越しください。

日 時 9月22日(日) 午前10時～午後3時  
場 所 キャッセン大船渡コミュニティス  
ペース、千年広場

内 容 ロディヨガ体験、大型遊具・室内遊び  
コーナー、子育て相談コーナー、福祉の  
お仕事紹介コーナー、ママの出店ブース  
(リラクゼーション、ワークショップ、物  
販等)、飲食ブース、ミニSL乗車体験  
コーナー

参加費 無料

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

### つどいの広場イベント日程（9月）

開催日	内 容	時 間
5日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午 午後1時～午後4時
12日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時～正午
19日(木)	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
26日(木)	かすみんの栄養相談会	午前10時～正午

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子  
育てをしている方ならどなたでも利用でき  
ます。

日 時 每週火曜日午前10時～午後3時  
場 所 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達  
障がいなど配慮が必要なお子さんのための  
おでかけひろば「ゆるり」は、9月11日  
(水) (午前10時～正午) に開催します。



## \*鈴木京子さんまごころ事業情報

### 高齢者等日常生活支援事業

夏の暑さが本格化し、季節の変わり目に庭の草刈りや窓拭きをしたくてもできない高齢者や障がい者を支援します。

**対象** 主に大船渡市内に居住している75歳以上または、障がいを持っている人が属する世帯

**申請方法** 対象世帯に該当することを証明する書類の写しを添付し申請

**利用料** 無料

## \*共同募金情報

### 2019年度

### 被災地住民支えあい活動助成の応募受付終了について

被災地のために活動するグループやNPO法人への支援金として、活動助成を行っていましたが、今年度助成予算に達しましたので応募受付を終了することとしましたのでご了承いただきますようお願いします。

### 寄付・寄贈の受入(7月分)

#### 復興支援金

市民ネットワークやっぺし！東北

#### 物品寄贈

長安寺太鼓保存会チンドン寺町一座(雨傘)

### 今月の表紙

村上政樹さん  
礼子さん  
結衣ちゃん(5歳)  
翔麻くん(2歳)  
(末崎町在住)

プールが大好きな結衣ちゃんと、おしゃべりが上手になってきた翔麻くん。撮影に訪れる毎回、2人でキャンプごっこ中。いつも仲良しの姉弟です。



#### □9月号課題「散る」

#### □締め切り

9月5日(木)必着。

1人1句。

(自信作をひとつ)

はがき使用。

#### □投句先

立根町字下欠125-12

「Y・Sセンター」内

大船渡市

社会福祉協議会

「ふくし川柳」係

#### □その他

作品によっては、

添削する場合もあります。

投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

## \*Y・Sセンター情報

### 生きがい講座～陶芸教室～

下記の日程で生きがい講座を開催します。陶芸づくりの基本的知識や技術の習得とともに、生きがいづくりや仲間づくりの機会をつくります。参加を希望する人は事務局までお申込ください。

**日時** 9月25日、10月2日(水)、10日(木)、

16、23、30日(水) 計6回

午後1時30分～午後4時30分

**場所** 大船渡市Y・Sセンター

**講師** 一点舎 新沼 紀三 氏

**参加費** 1,000円(但し、施設利用料、材料費等は自己負担)

**申込方法** 9月11日(水)までに電話または直接来所で申込み。

### 筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。測定料は無料で、事前の申込は不要です。

**日時** 9月7日(土)

午前10時～正午(午前の部)

午後1時～午後3時(午後の部)

**会場** 大船渡市Y・Sセンター

**参加費** 無料

ホームページで社協活動を日々更新中です。



<http://ofunato-shakyo.com>

### 「ふくし川柳」

課題 「再会」 富谷英雄選

再会は笑顔いっぱい孫が来る  
再会の笑顔が並ぶ敬老会  
再会の友の笑顔に救われる  
八年目再会果たしだ涙

#### 『佳作』

再会で タイムスリップ する二人

末・滝田 澄子

立・田沢 博昭  
赤・佐々木 敦子  
吉・千葉 元子  
立・武田 みつ

(評)「中七」の「タイムスリップ」という言葉が、この作品のキーポイント。一人の間で果たして、過去のどんな物語に一喜一憂するのか知りたいところ。

# 利用者に寄り添いながら活動を後世に



## 輝き人

きんの野の子さん (80歳)

立根町在住。声の福祉図書館運営ボランティア「せきれい」会長。利用者に「朗読」を通して寄り添い続け、今年度、大船渡市社会福祉協議会表彰ボランティア活動功労を受賞。

### ○これからは好きなことを

小学生の頃から朗読が好きで、朗読会の時間が楽しみでした。当時は、声優など声を使う仕事に憧れていたものです。

今の活動のきっかけは定年後。長年、福祉施設で働いてきて、これからは好きなことをやりたいと思つたんです。そんなとき、目に障がいがある人へ録音図書の貸出や管理、オリジナルの録音雑誌を発行している「せきれい」の活動を知りました。この出会いと幼少期の憧れが結びつき、当時の会長に声をかけて、「せきれい」の会員になりました。とてもわくわくしていました。とてかわくしてい

### ○「好き」と「できない」は違う

実際活動してみると、自分なりの読み方では不十分で、聞きやすく伝わる「寄り添う」読み方を基本から勉強しなければい

けませんでした。さらに、雑誌製作のための録音や編集作業も覚えなければならず、好きだけができるものではないと痛感しました。

今でも、利用している人たちにうまく伝わっているか不安ですし、録音機材を操作することに追いついていかない自分に焦りばかりが募るときもあります。そのたびに、朗読が好きで活動を始めた最初の気持ちや、利用している人たちからの「録音図書はもはや生活に欠かせないもの」という言葉を励みに、気づけば16年経つていました。

### ○16年の活動の先に見るのは

私が今まで活動できたのは、志を同じくする仲間に支えられてきたからです。ライオンズクラブの寄付と社会福祉協議会の協力で「せきれい」が結成されて30年余。月1

回発行している「声の雑誌せきれい」も今年8月で316号を迎え、先人のみなさんの活動をいくことも大切な活動となりました。そのひとつとして現在、結成当時テープに収録された録音図書のCD化を進めています。仲間の人数や年齢を考慮され楽ではありませんが、私たちの活動が息の長いものになるよう頑張っていきます。そして、これからも利用している人たち一人ひとりに思いを馳せながら、喜び感動してくれるような「寄り添う」読み方を模索し続けていきたいと思っています。

そんな私たち「せきれい」の活動を理解して、仲間になつてくれば嬉しいです。



録音雑誌「せきれい」を作り始めて26年経ちました



毎日暑い日が続きますね！熱中症にならないようにご注意ください。今月の社協だよりの中にかき氷が置かれていますがちがう食べ物もまざっています。いくつあるかさがしてみてね！